

第7号様式（第4条関係）

まちづくりアドバイザー登録票

ふりがな	ひらた のりえ
氏名	平田 徳恵
所属（勤務先）	株式会社エフ・エル・ディー一級建築士事務所
連絡先	まちなみ景観課へお問い合わせください
専門分野	観光・文化のまちづくり・都市計画・環境色彩調査
支援可能事項	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちづくりの進め方(ワークショップなど)について ■ まちづくりの事業手法や制度について ■ まちづくりの計画・ルールづくりについて <input type="checkbox"/> 建築制限、開発制限について <input type="checkbox"/> 不動産鑑定、税務、法律について <input type="checkbox"/> 防災まちづくりについて ■ その他(景観色彩計画、観光まちづくり)
支援可能事項における実績等	<p>1996年：岡崎市美術博物館「ジャズの街角」展示デザイン参加</p> <p>1997年：銀座・東海ギャラリー「アート広重」に参加</p> <p>1998年：ワインと四季の食彩「味蔵」内装・実施設計</p> <p>1999年：「CHARIE'S ROOM」インテリアデザイン計画・実施設計</p> <p>2000年：NAMCO 横濱カレーミュージアム 企画基本デザイン・実施設計</p> <p>2001年：五十崎邸新築工事 計画・実施設計</p> <p>2002年：南小樽ダイケアセンター実施設計</p> <p>2004年：暮らしの手帖 別冊「生活技術」（住まう技術）イラスト作成</p> <p>2005年：「城下町鳥取の再生」プロジェクト市民参加まちづくり ワークショップコンサルタント業務等</p> <p>2007年：桜木町オフィス インテリアデザイン計画</p> <p>2008年：新小岩T邸マンション リフォーム計画</p> <p>2010年：港区高輪K邸マンション造作家具デザイン・コーディネート</p>
論文その他の実績等	<p>1990年10月：日本画院展第50回記念展「潮の香」（F 120号日本画）努力賞</p> <p>2008年11月：インテリア産業協会主催インテリア IC Voice コンテスト入賞</p> <p>2011年6月～：日本建築学会正会員</p> <p>2011年8月 <u>平田徳恵・岡村祐・川原晋</u>：地域ブランディングの視点からの色彩ガイドラインの可能性－札幌の景観色 70色を事例として－日本建築学会大会口頭発表，学術講演梗概集 F-1, pp301-302</p> <p>2011年9月 <u>村松智史・川原晋・岡村祐・平田徳恵</u> 他5名：東京都大田区におけるモノづくり観光の実験的取り組み，都市計画学会ポスターセッション</p> <p>2012年10月 <u>饗庭伸・川原晋・平田徳恵</u> 他3名：地域情報を共有するまちづくりフラッグの開発，日本建築学会技術報告集，第18巻，第40号，pp. 1083-1086</p> <p>2013年3月 <u>平田徳恵・岡村祐・川原晋</u>：景観色彩ガイドラインの活用による地域ブランディングの可能性－特定色を指定する「意味付与型」の表現方法に着目して－，日本建築学会計画系論文集，第78巻，第685号，pp. 663-671</p>

その他PR事項

これまで、日本画を学び、住宅や店舗の建築・インテリアの設計デザイン、まちづくりのコンサルタント業に関わり、さらに、インテリアや建築士の資格スクール、消費者向けの住まいのセミナー等で講師という立場に立ってきました。

現在の日本は、生活の方法を含めて、地産池消を目指していく社会への転換期にあると考えています。そのような中で、日本の空気・熱・光環境、社会制度や慣習の下での現代に継承すべき「日本らしさ」について研究し、現代の生活をしっかり支えることのできるまちづくりを、皆さんと共に考えていきたいと思っています。

形やデザインといったハード面だけでなく、文化・環境・社会といったソフト面をも、トータルにとらえた上で、地域の環境保全に配慮しつつ、これからの社会に即した暮らしが実現できる「まちづくり」を目指していきたいと考えています。

日本人に適した住まい方、また地域の特徴を活かして、住み心地よく、訪れて楽しい「まち」となるように、地域でのまちづくりのお手伝いが出来れば嬉しいです。

【広報はちおうじ No. 1242:2011. 11. 1号】

<特集 景観計画スタート>～大切にしたい。身近な風景～ 掲載記事

興味持つことが第一歩

私たちにできること

景観審議会市民委員 平田徳恵さん



プロフィール
一級建築士として設計デザインや講師業の傍ら、首都大学東京大学院観光科学域で観光まちづくりの研究を行う。

八王子の良いところは、なんといっても緑が多く、山が見え空が大きくきれいな所だと思えます。住みやすく訪れた方にとっても気持ちのいい空間があるのは、とても貴重です。景観はまさに共有の財産だと思います。私たち市民にもできることがあるはずです。その第一歩は、自分の住むまちに興味を持つことではないでしょうか。色が変わった、変な建物ができちゃった、

た、こうすればきれいなのに。こんな風に目を向けるとまじの気分も変わってきます。景観という物の整備と考へがちですが、人と人との付き合いや、コミュニティも大事なことです。例えばご近所どうしで協力して清掃活動や花壇づくりをするといったことも良い景観に貢献できると思います。一人ずつだとちよっとのことですが、みんなできたら大きな力になるはずです。

問い合わせ 市街地整備課
TEL 020-72267 FAX 020-72267

5 広報はちおうじ 2011.11.1

街並みから考える家づくり

6月17日、つくば

住まいの無料セミナー「街並みから考える家づくり～素敵な街並みと住まいの外観&植栽」が、6月17日(日)つくばハウジングパーク・センターハウスで開かれる。午後1時～2時。参加無料。企画/サンフジ企画。

講師は一級建築士でインテリアコーディネーターの武原徳恵さん(FLD都市環境デザイン取締役)。道路や歩道、植栽をはじめ、照明、家の外観、外構、庭、色彩など魅力的な街並みの事例を紹介しながら家づくりのポイントを分かりやすく解説する。

「快適で安全、住まいの資産価値も高まる街づくりに関心が集まっています。マイホームをご検討中の方は必見。ぜひお越しください」と企画担当の福島智裕さん。

定員30人(予約制、先着順受け付け)。なお、次回セミナーは7月22日(日)、「スマートハウスってなに？」をテーマに開催予定。先行予約を受け付けている。



講師の武原徳恵さん

茨城県地域情報紙「常陽リビング」

常陽リビング 
<http://www.joyliving.co.jp>

茨城県地域情報紙

【常陽リビングニュース】

2012. 6. 11 掲載記事